

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020年11月6日
商工中金

低温管理棟を新設し、食の安全・安心に取り組む 協同組合八戸バナナ加工センター様を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（八戸支店）は、協同組合八戸バナナ加工センター様（本社：青森県八戸市、理事長：横町 芳隆様）に対し、青果物を保管する低温棟の新設及び既存設備の拡張に必要な資金3億4,200万円のうち、2億4,000万円を融資しました。

同組合は、県内随一の青果物流会社である八戸中央青果株式会社（本店：青森県八戸市）を主体とし、組合員が利用する冷蔵設備等を管理しています。組合員は共同設備を利用し、国際港に輸入されるバナナ等の青果物を保管から熟成、加工、パッケージングまで一貫して手掛け、八戸市並びに青森県、岩手県へも食材を供給しています。

今回、同組合は、昨今の気候変動に伴い必要となる高度な品質管理、および天候に左右されない農作物の安定供給との観点から、低温管理棟の建設を計画しました。同計画は、地場の農作物の鮮度を維持するもので、特にその中でも青森県が施策として産地力強化を掲げる「ながいも」の品質維持にも効果を発揮します。

商工中金は、同組合及び組合員への調査やヒアリングを通じた事業性評価により、同組合の取組みが、食の安全・安心ならびに食品ロスの抑止に繋がると判断。特に、新たな管理棟は既存設備との連携を図り従業員の作業負担を軽減するなど、働き方の改善が地域の安定雇用にも資することから、低温管理棟の取得に必要な資金を融資しました。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【協同組合八戸バナナ加工センター様の概要】

所在地	八戸市大字河原木字神才7番4
代表者	横町 芳隆様
出資金	200万円
組合員数	4社（2020年9月現在）
設立	2007年12月
業種	共同保管、設備賃貸



【同組合が保有する既存保管設備】